

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース40号

2013/03/18 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き：先週の下落に対して反発で上昇するも、上値は固い状況。

①週最高：LDN 市場£ 1,465 / NY 市場\$2,158 (共に3月12日) 先週比 **LDN+£ 24/NY+\$38**  
②週最低：LDN 市場£ 1,427 / NY 市場\$2,115 (共に3月6日) 先週比 **LDN+£ 45/NY+73**  
週内差額 (①-②)：LDN 市場£ 38 / NY 市場\$43

#### 【3月11日(月)】両市場とも続伸

両市場とも続伸。

ニューヨーク市場の5月きりは10ドル(0.5%)高の2130ドルで終了。8日に付けた9カ月ぶりの安値から回復し、終値ベースで2月28日以来の高値水準となった。ただ、2012~13年度の西アフリカのミッドクロープ収穫量見通しが改善したことで、上値は抑えられたとみられる。

ロンドン市場の5月きりは10ポンド(0.7%)高の1451ポンドで引けた。

#### 【3月12日(火)】両市場とも更に続伸

両市場とも続伸した。

ニューヨーク市場の5月きりは28ドル(1.3%)高の**2158ドル**と、2月13日以来の高値で引けた。先週は2034ドルと約9カ月ぶり安値を付けたが、割安感から買いが誘われた。

ロンドン市場の5月きりは14ポンド(1%)高の**1465ポンド**と、2月5日以来の高値で引けた。

#### 【3月13日(水)】反落=上昇後の値固め

このところの上昇局面の後を受けた売りに両市場ともに反落した。

ニューヨーク市場の5月きりは11ドル(0.5%)安の2147ドルで終了。ビジョン・ファイナンシャル・マーケットのボイド・クルーエル氏は「過去数営業日の上昇の後で値固めとなった」と指摘した。

コメルツバンクによると、過去5営業日は、コートジボワールやガーナなどカカオ豆の主要生産国で、需給が予想以上に引き締まるとの見方から上昇していた。ロンドン市場の5月きりは4ポンド(0.3%)安の1461ポンドで引けた。

【3月14日（木）】両市場とも続落＝テクニカルな売りで

このところのショートカバーによる上昇を受けたテクニカルな売りで、両市場とも続落した。ニューヨーク市場の5月きりは17ドル（0.8%）安の2130ドルで終了した。5月きりは、潤沢な供給が圧迫して前週に付けた9カ月ぶり安値から5%超上昇している。ロンドン市場の5月きりは20ポンド安の1441ポンドでそれぞれ引けた。

【3月15日（金）】ニューヨーク、ロンドンとも3日続落

ニューヨーク市場のココア先物は、テクニカルなみ合いの後、3日続落。5月きりは、15ドル（0.7%）安の**2115ドル**で引けた。ロンドン市場の5月きりも3日続落。5月きりは、14ポンド（1.0%）安の**1427ポンド**で終了した。

## 2、ブラジルの12~13年度カカオ豆着荷量、21%増、10日時点—バイア商業協会(3/14)

ブラジル・バイア州商業協会が13日までに発表した統計によると、2012~13年度（12年5月~13年4月）の同国主産地と外国からのカカオ豆着荷量は、3月10日時点で前年同期比21%増の10万2405袋（1袋=60キロ）だった。うち、輸入は7万0794袋。

## 3、コートジ、ミッドクropp期のカカオ収穫開始に遅れ＝厳しい乾期受け(3/14)

コートジボワールの農家と輸出業者が13日明らかにしたところによると、同国では厳しい乾期の影響で一部のカカオの花が枯れるとともに、つぼみのサイズが小さくなっている。これを受け、ミッドクropp期（4~9月）の収穫開始が遅れている。

輸出業者の推計によると、2012~13年度のカカオ生産は前年度と比べ遅れており、港の着荷量は10日時点で前年同期比約6%減少。12年11月~13年3月の乾期は気温が極端に高く、ほとんど雨が降らなかった。2月末には雨が降りだしたが、輸出業者と農家は、初期のミッドクropp生産への被害を回復させるには遅過ぎたと指摘した。

## 4、カメルーンのカカオ豆価格、供給不足で上昇（3/16）

カメルーンのカカオ豆の農家出荷価格がメインクroppの収穫量が減少し、供給量が少なく、供給が不足していることから、主要な生産地では3月に入って22%も上昇していると生産者と関係機関が報告した。

世界第5位のカカオ生産国であるカメルーンの南西州で主要な生育地域である Kumba では、最も価格が上昇し、2月の735CFA/kgから3月には900CFA/kg（≒\$1.78）に上昇した。

また、中央州にある、もう1つの主要な生産地域である Emana では、先月の800CFA - 810CFAから今月は825CFA - 850CFAまで上昇した。

『メインクroppの収穫がほぼ終わって、今はマーケットにほとんどカカオ豆がないよ。だから今月に入って、先月より急激に価格が上昇している』南西州のカカオ生産者組合の代表者は語る。

彼は、カメルーンの経済的な中心地である Douala からの買付け人が、供給数量が少なくなることを懸念してカカオ豆を確保しようとした動きが一気に活発になって価格が大幅に引き上げられたと説明した。

国立コーヒー&ココアボード（NCCB）の担当者たちと、コーヒー&ココアインタープロフェショナルボード（CCIB）も輸出されるカカオ豆の品質の改善を狙って今回の価格の上昇を後押しした。

『12月に2,000トンの輸出されたカメルーンのカカオが、欧州市場で品質不良の為に受け取りを拒否されたことを受けて、我々はこの状況を改善させる為に生産地へ実際の足を運んで活動した』CCIB代表者である Omer Gatien Maledy氏は言う。

『しっかりとしたカカオ豆の加工方法を教えなければ、乾燥がされていないカカオ豆は全て台無しになってしまう』

カメルーンではカカオ主要な換金作物であり、主に4つの地区で栽培されている。中部地区と南西地区が其々国全体の40%の生産数量となっている。

カメルーンのカカオの生産数量は2010/2011シーズンに過去最高の24万トンに達したが、2011/2012シーズンは害虫と病害、長い乾季の影響で22万トンに落ち込んだ。

下記の表は2月中旬からのカメルーンのプロデューサー出荷平均価格の推移。

	<u>3月</u>	<u>2月</u>	<b>*1ドル=505.340 CFA</b>
<b>南西州</b>			
Mamfe	900 CFA/kg	735	CFA/kg
Konye	910-920	800	
Kumba	930-950	810-825	
Muyuka	920	790-800	
Mbonge	915	795-800	
<b>中央州</b>			
Bafia	875	820-835	
Emana	825-850	800-810	
Mbalmayo	815-825	800	
<b>南部州</b>			
Ebolowa	820	800	
Sangmelima	820	785-800	
<b>東部州</b>			
Bertoua	700-725	615	
Yokadouma	700	600	

(\$1 = 505.3400 CFA francs)



## 5、リンツ社、2012年度決算、欧州の経済不況の影響なく、利益拡大(3/15)

スイスの高級チョコレートメーカーである Lindt & Spruengli 社（以下、リンツ社）は欧州と米国での強いスイーツへの需要が同社の最終利益を押し上げ、2012年は当初の利益予測を達成し、同社グループの配当も上昇させると発表した。

収入の部は、10.3%上昇し、271.9百万フラン（≒\$286.32百万ドル≒272億円）となった。

チューリッヒ湖の近くの Kilchberg に位置するリンツ社は、昨年度 50フランであった配当を 2012年度は 57.5フランまで上昇させることを提案しており、これは事前の予測であった 56.5フランよりも高い。また、Lindt & Spruengli 社は中期的な目標として毎年 6-8パーセントの売上高の成長と、0.20%－0.40%の営業利益率を上昇させるとしている。（\$1 = 0.9497 Swiss francs）

## 6、アジア市場、バターレシオは4カ月ぶりの低い水準に(3/15)

- ・バターのレシオはロンドン先物市場価格に対して 1.75-1.80
- ・ココアパウダーの価格は\$2600－\$2700/MTで推移

今週ココアバターは昨年 11月以来となる低いレシオのレベルに変化したが、イースター休暇需要を前にしたチョコレートメーカーからの最後の駆け込み需要があり、一方で中東からのココアパウダーの需要でパウダーの価格は安定して推移したとディーラー筋から報告があった。

ココアバターの供給不安が解消され、コートジのミッドクroppも豊作の予測が出てきたことから今週バターのレシオは今年の 1月に過去 4年間で最高値をつけた 1.95-1.98レシオから今週は 1.75－1.80レシオへ下がった。

『バターのレシオは現在、4，5，6月積み出し、もしくは、第2四半期積み出しとしてロンドン先物市場価格に対して、1.80のレシオで取引されている。2013年の下旬の積み出しについてのレシオはやや高く、1.82 - 1.85レシオだろう』とシンガポールのディーラーは話す。

『パウダーは\$2600－\$2700ドルの間で引き続き取引されている。需要はそれなりにある』

『バイヤーは、1.75レシオでの買付けを希望しているが、オファー価格は現在 1.80レシオだ。今日は何も取引がなかった。まだ我々はバイヤーの買付けを待っているよ。イースター向けの需要はほぼ終了したのであろう』マレーシアのディーラーは話す。

『しかし、パウダーの需要は今すごく強い。今週もいくつかの買付けがあったよ。それらの買付けの多くは中東からの需要だ』と付け加えた。

## 7、欧州市場：カカオ先物価格の急上昇が新規の買付けを抑制(3/16)

この数カ月の低いカカオ価格から今週の急激なカカオ豆の価格上昇の影響と、チョコレートメーカーが既に当面の供給を確保していることなどから、欧州のカカオ市場では新規のカカオ買付け需要が弱まったとトレーダーが報告した。

『多くの業界のバイヤーたちは今回の急激な価格上昇は一時的なもので、今後数週間で再度価格が下落する可能性が高いと考えられている』とあるトレーダーは話す。

『今週のカカオ豆とココアバターに対する買付け希望は非常に少なかった。これは買付け者が今の先物価格の価格上昇に納得しておらず、チョコレート業界としては、カカオ豆の在庫も多くあることから今

は安い価格になるのを待つことが出来る状態だからである』

今週の半ばにカカオ先物価格は、世界最大のカカオ豆輸出国であるコートジのミッドクロップの開始が遅れるという懸念から先週に比べ5%も上昇した。先物価格は一方で、西アフリカの収穫が多そうであるという情報から先週には過去9カ月の最安値まで下落していた。

良い品質のコートジ産カカオ豆に対するプレミアムは今週も変化はなく、ロンドンの先物5月積み出し価格に対して+45ポンド/トンとなっている。

ココアバターの価格のレシオはほとんど変化がなく、今週水曜日に3月積み出し価格の期限が来た後、そのまま5月積み出し価格に変更され、5月積みのロンドンのカカオ豆価格に対して1.93レシオとなっている。

『欧州のカカオ豆の買付け希望のラインはロンドンの先物価格が1,400ポンドもしくはそれ以下の価格である』

5月積み出しのカカオ豆の価格は金曜日で1,431ポンドであった。

『先物市場の価格が上昇した為に、ガーナは今週、市場で大きな販売者となった、これはおそらく生産国側もミッドクロップが入荷するに従ってカカオ豆の価格が下落していくと予測していると示す材料だ』と、トレーダーは言う。

先物のディーラーによれば今週にガーナによるカカオ豆の売り出しがあったと報告した。

『先物価格が上昇したことを受けて、ガーナは今週に新物のカカオ豆を3万~5万トン販売したという話を聞いた』ディーラーは言う。

一方、ココアパウダーの需要は低く、価格は下落傾向にあるとトレーダーは言う。

欧州市場でのココアパウダーの価格は通常では先週と変わらず2,300ユーロ/トン付近であるが、今週は2,000ユーロ以下での販売があったという話も出ている。2012年の年末時点ではパウダーは2,500ユーロであった。

弱いパウダー市場が影響し、磨砕業者はカカオ豆を磨砕するよりも、ブロックのココアバターの在庫を融解させて販売しようとしている。カカオ豆を磨砕してしまうとココアパウダーとココアバターの両方が出来るが、今はパウダーを売ることは非常に難しい、トレーダーは言う。

『業界全体が既に当面必要な原料の買付けをおおよそ行っていることも、今週買付けがすくなくなった大きな理由の一つ』別のトレーダーは言う。

『欧州の主要なチョコレート企業は既に当面の原料調達を終えていると見積もっている』

『しかし、1次加工カカオ原料を製造している企業からはいくつか引き合いがあった』

トレーダー筋は『欧州市場ではいくつかの国では景気後退局面の中でチョコレートが生き残ることが出来るのか、イースター需要に対しての今後の小売市場での販売状況を注意深く見ていく』『欧州の中でも南欧州の消費の落ち込みはひどい』

欧州のカカオ豆磨砕業の中には、これまでの数カ月間で工場の操業時間の短縮などを余儀なくされていたので需要復活の兆候があるか否か、注意深く市場をみていく必要がある。

**\*特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。**

\*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp